

新 高齢者社会参加促進事業

健康増進課

26年度 予算額

15,896 千円（一般財源）

1 事業の趣旨

高齢者が知識、技術、経験を十分に活かして社会参加（就業、創業、社会活動）できることを目指し、長野県長寿社会開発センター（支部）にシニア活動推進コーディネーターを配置し、関係機関、団体の連携体制（プラットフォーム）を圏域ごとに構築するとともに、高齢者の社会参加に関する県民への意識啓発を実施する。

2 事業内容

(1) 圏域における関係機関、団体の連携体制の構築と高齢者の社会参加促進の環境づくり

(事業費 15,171 千円)

ア シニア活動推進コーディネーターの配置

センター支部3か所（長野、上小、諏訪）にシニア活動推進コーディネーターを配置する。

【コーディネーターの活動内容】

- ・関係機関、団体の連携体制の構築、機能強化
- ・関係機関、団体によるネットワーク会議を随時開催し、状況把握により出てきた課題や改善策を共有し、各団体が高齢者の活躍の場を提供できるよう取組を活性化
- ・新たな社会活動など活躍できる場の掘り起こし
- ・高齢者の社会参加促進に資する情報や関係機関、団体の課題を収集、提供・共有

イ 圏域における連携体制の構築

- ・市町村、市町村社会福祉協議会（ボランティアセンター）、生涯学習センター、公民館、老人クラブ、NPO団体、ハローワーク、シルバー人材センター、商工会、農協等で構成
- ・お互いの情報、課題等を共有し、高齢者の社会参加促進に向けた体制を整備

(2) 人生二毛作推進県民会議の開催

(事業費 725 千円)

関係機関、団体のネットワークを形成し、各圏域の連携体制を県レベルで後押しするとともに、高齢者の社会参加に関する課題の把握と改善策の検討を行う。

(3) タウンミーティングの開催

「健康長寿、社会参加」等をテーマに県民参加のタウンミーティングを開催し、高齢者の社会参加を促進するための意識啓発を行う。

3 事業費

15,896 千円（一般財源）